

ご挨拶

会長 北山 富士子

平成も残り少なくなってきました。

平素より、会員の皆様、賛助会員の皆様には、本会活動にご理解とご協力をいただき誠にありがとうございます。お陰様で、今年度もたくさんの委託事業、栄養ケア・ステーション事業を終えることが出来ます。

さて現代は、生活習慣病に関する「過剰栄養」と、若い女性の痩せや高齢者のサルコペニア、フレイルに関する「低栄養」状態が混在する「栄養の二重負荷」の課題に直面しています。栄養状態の良し悪しが健康寿命に大きく関わることから、栄養問題が話題となっており、2020年には「栄養サミット」が開催される予定です。栄養の専門職である管理栄養士・栄養士は、より一層の活躍が期待されます。

2018年の診療報酬ならびに介護報酬の同時改定におきまして、切れ目のない栄養管理を行い、地域で暮らす人々の栄養状態を良好にして、健康長寿の延伸を図ることが要求されています。本会では、在宅栄養管理・食育支援センターを立ち上げ、在宅栄養管理を進めるための研修会も継続して開催していきますので、多くの方がご参加くださいますようお願いいたします。

最後になりますが、新たな年に向け本会会員の皆様がますますご活躍されますことを祈念いたします。



平成30年度 年末懇親会 開催

平成30年12月8日（土）、ザ・グランユアーズ（天山の間）にて公益社団法人福井県栄養士会の年末懇親会が、盛大に行われました。福井県知事 西川 一誠様をはじめ、多くのご来賓の方々、賛助会員の皆様、106名の会員の方にご出席いただきました。

アトラクションでは、サクソ・ピアノ・二胡の演奏を楽しみ、ビンゴゲームでは通常の景品の他にサプライズな褒美プレゼントもあり、短い時間ではありましたが、楽しいひと時を過ごす事ができました。ご参加いただきました皆様方、ありがとうございました。次年度は、学校健康教育職域が担当となります。



福井県知事
西川 一誠 様

平成30年度年末懇親会来賓御芳名



福井県知事	西川 一誠 様
仁愛大学学長	田代 俊孝 様
仁愛女子短期大学副学長	島田 貢明 様
福井県健康福祉部部長	池田 禎孝 様
福井県健康福祉部健康増進課課長	宮下 裕文 様
福井県健康福祉部長寿福祉課課長	境 勝利 様
福井県農林水産部食料産業振興課課長	岡本 吉央 様
J A 福井県中央会参事	田黒 吉之 様
J A 福井県厚生連参事	岡本 憲文 様
J A 福井県中央会総合支援課課長	小南 禎勝 様
J A 福井県厚生連健康診断課課長	上口 竜男 様



平成30年度 公益社団法人 福井県栄養士会定時総会開催



福井県知事
西川 一誠 様

平成30年5月27日に、福井県国際交流会館において「平成30年度公益社団法人福井県栄養士会定時総会」を開催しました。北山会長、清水名誉会長の挨拶に続き、ご来賓として福井県知事 西川 一誠様、仁愛大学副学長 鈴木和春様よりご祝辞を賜り、また、仁愛女子短期大学 生活科学学科 学科長 小林 恭一様のご臨席をいただきました。

新人研修会出席者の紹介後、定款に基づき1/2以上の会員の出席を得て総会が成立し議事に入りました。議長に佐々木 千佳氏、議事録署名人に谷口 良江氏と清水 孝子氏を選出し、事業報告・収支決算等について審議し承認されました。また、平成30・31年度の新理事19名、日本栄養士会代議員4名が選任され、定時総会を終了しました。

特別講演では、福井県健康福祉部健康増進課 課長 宮下 裕文氏から「今後の福井県の健康づくりについて」と題したご講演をいただきました。

平成28年度福井県の国民健康・栄養調査結果をもとに、福井県では、平成30年度から①第4次元気な福井の健康づくり応援計画、②第3次福井県がん対策推進計画、③第7次福井県医療計画、④第3次福井県医療費適正化計画、⑤第7期福井県老人福祉・介護保険事業支援計画、⑥第6次福井県障害者福祉計画、⑦第4次福井県ひとり親家族自立支援計画と健康福祉に関係する7つの新しい計画がスタートしました。その中で①～⑤の項目の施策について、具体的にわかりやすくご説明していただきました。福井県の平均寿命は全国でトップクラスです。今後は世代別に抱える問題点を踏まえた栄養、食事管理が必要であり、私たち管理栄養士・栄養士は、プロフェッショナルとして福井県民の健康寿命の延伸につながるよう、各職域で力を発揮していくべきであると感じました。



健康増進課課長
宮下 裕文 様

新人welcome研修会

平成30年5月27日（日）福井県国際交流

平成30年度総会当日の午前中に新人研修会を開催し新会員20名が参加しました。

管理栄養士・栄養士として業務を行うための基礎的な知識や注意事項について、清水名誉会長から具体的な例をあげながら紹介がありました。その後、各職域に分かれ、先輩管理栄養士を交えたグループディスカッションを行い、日頃の業務等について意見交換を行いました。

研修で最も印象的だったのが、先輩を交えた意見交換でした。同期・先輩の方々と不安や悩みを共有することで、これから自分自身がどのように仕事に向き合うべきかを改めて考えることができました。一年後、先輩という立場でこの場に立つことがあれば、後輩に「先輩のようにになりたい」と思ってもらえるように、今の仕事を精一杯頑張りたいと強く感じました。 小林 明穂



社会人四年目の行政栄養士さんが教えてくださいました。「その方の思いを受容し、寄り添って一緒に考え、良い方向性を見つけ出し、満足して帰っていただく。そこに成就感や達成感、仕事へのやりがいや誇りを持てます。」「課題は本当に来てほしい人と関わりを持つ手だてです。」一年目の者にとって、有意義なひと時でした。 山田 勝一郎

栄養ワンダー

栄養の日

たのしく食べる、カラダよろこぶ

8/4 栄養の日 8/1-7 栄養週間

「栄養の日週間」のメイン企画のひとつ、「栄養ワンダー」。

管理栄養士・栄養士の活動先、栄養に関する地域イベントなどを支援する一環として、活動先のオリジナルイベントに加えて、栄養を楽しむためのコツをまとめた「栄養ワンダーブック」の配布、協賛社提供の商品サンプリングを行うもので、栄養への興味喚起と管理栄養士・栄養士職能への認知理解を目的に実施されました。



家久保育園では、商品のサンプリングを児童に提供し、栄養について話しました。また、玄関にて保護者へ資料配布・栄養指導を行い、栄養について考えることのできる一日となりました。

仁愛大学、仁愛女子短期大学でも、サンプル食品を配布しながら栄養相談が行われました。また、福井大学医学部附属病院、福井厚生病院もこのイベントに参加しました。



2018 健康づくり提唱のつどい

平成30年6月30日（土）福井県国際交流会館にて「健康づくり提唱のつどい」を開催しました。初めに㈱ヤクルト本社広報室副参事 河見 浩司郎氏より「腸内フローラと健康～健康の秘訣は腸にあり～」との演題でご講演いただきました。

現在、遺伝子解析によって腸内細菌の影響や役割についての研究がすすみ、肥満・がん・動脈硬化・糖尿病・性格などとの関連性についてエビデンスがあることを話されました。

乳酸菌やビフィズス菌などのプロバイオティクスに食物繊維やオリゴ糖などのプレバイオティクスを組み合わせたシンバイオティクスが術後の感染予防に効果をあげています。

プロバイオティクスとしての乳酸菌「L.カゼイ・シロタ株」とビフィズス菌「B.プレーベ・ヤクルト株」をガラクトオリゴ糖とともに与える「シンバイオティクス」は感染症を減らし、免疫力を上昇させることなどについても講演されました。

続いて、東京大学高齢社会総合研究機構 教授 飯島 勝矢先生より「フレイル予防には“総合知”によるまちづくり“食べる”ことを問い直す」というご講演をいただきました。

フレイル対策・予防は国家プロジェクトであり、高齢者において従来のメタボ対策からフレイル予防に切り替える必要性についての認識も高まっています。

フレイル予防を通じた健康長寿のまちづくりとして、市民主体で構成されたフレイルサポーターによる健康・運動・社会参加を軸に、集いの場でふくらはぎの「指輪つかテスト」などを用いて、気づきの場に変えフレイルチェック事業の全国展開を行っている事業について紹介していただきました。

今後、管理栄養士・栄養士はフレイル対策・予防のアプローチは、栄養・身体活動・社会参加の3本柱を念頭におく必要があると感じました。



平成30年度「ふくい健幸美食」Next Stage

福井県では平成24年度から、特に働き世代のメタボ対策を目的として、「ふくい健幸美食（エネルギー、野菜量、塩分量等を県が定める基準に合わせたメニュー）」の普及を進めています。

栄養士会では、これまで、飲食店やスーパー等のメニューが基準に合ったものになるよう、献立調整や栄養価計算などの支援を行ってきました。

また、今年度は新たに、県からの委託を受けて、高齢者や若い女性に散見されるやせ等の栄養不足の問題にも対応するため、「ふくい健幸美食」モデルメニューの開発を行いました。このモデルメニューは、「主食・主菜・副菜」をそろえることに加えて、使用する食材に配慮することで、カルシウムや鉄分、食物繊維、ビタミンなど不足しがちな栄養素を摂取できることが特徴で、今後は、食品事業者や家庭に向けて普及を進めていく予定です。

その一環として、平成31年3月7日（木）福井県産業会館本館2階本館展示場において、女子栄養大学・大学院 教授 武見 ゆかり先生を講師にお迎えし、主に食品事業者を対象とした「モデルメニュー発表会」を開催しました。



平成30年度在宅栄養管理指導研修センター運営委託事業研修会

高齢者個々の在宅栄養管理について多職種間の連携を図り、管理栄養士が最新の課題について研鑽し、より専門的な栄養・食生活支援を継続して実践していくことを目的として全3回の研修会を開催しました。

(第1回)



田中 和美 先生

平成30年10月26日(金)福井県教育センター大ホールで、神奈川県立保健福祉大学保健福祉学部栄養学科 教授 田中 和美先生に「在宅における低栄養予防及び重症化予防～効果のある保健活動～」についてご講演いただきました。神奈川県大和市の取り組みについて紹介され、「低栄養状態を改善することで得られる効果をコスト化して、表や図で示して一目で理解できるようにする見せ方(可視化)が重要である」と話されました。また対象者に受け入れてもらう方法として、その方の大切なものをヒントに介入すると受け入れてもらいやすい、また口から食べる支援を地域で行うためには共通言語(日本摂食・

嚥下リハビリテーション学会嚥下調整食2013)を用いて食事形態を伝えていくことが重要であると話され、在宅訪問栄養管理指導の実際について具体的に学ぶことができた大変有意義な時間となりました。

(第2回)

平成31年1月17日(木)に福井県教育センター大ホールで、福井大学医学部地域医療推進講座 講師 山村 修先生に、「人口減少社会に挑む地域栄養連携について」のご講演をいただきました。

先生は山形県、若狭町を例に挙げ町の構成、人口動態、病院・介護施設状況などを紹介され、高齢者に関わる人達の負担を軽減しつつ、



高齢者本人が穏やかな人生を全うできる人生が超高齢者社会では重要であり、そのために栄養管理連携が鍵である。さらに、在宅と病院、施設と病院、在宅と施設間で密な情報連携を図り、地域で継続的な栄養治療を行い、施設内外を問わず多職種連携を深めていくことが大切と結ばれました。



山村 修 先生

(第3回)

平成31年3月2日(土)福井県国際交流会館にて三重県津市役所健康づくり課 澤 理恵氏に「高齢者の低栄養・フレイル予防事業(栄養パトロール)の取組み」、千歳 泰子氏に「栄養パトロールにおける管理栄養士の報告」についてご講演していただきました。津市では平成27年度から高齢者の低栄養・フレイル予防事業として、保健師・歯科衛生士・管理栄養士がチームとなり巡回栄養相談・訪問栄養指導の栄養パト



千歳 泰子 氏



澤 理恵 氏

ロールをされています。地域住民がフレイルについて知り、早期発見につながり重症化を予防する素晴らしい活動と感じました。

講義の後は、各地区ごとにグループディスカッションが行われました。津市での取組みを参考に管理栄養士・栄養士が在宅において、現在の課題や今後の取組み、また必要なスキルアップなどの意見交換の場となりました。

地域ごとのグループディスカッション



丹南地区



坂井地区



福井地区



嶺南地区



奥越地区



2019年 福井県栄養士会生涯教育研修会予定

月日・会場	中 項 目	小 項 目
5月19日(日) 福井県教育センター	未来をつくる管理栄養士・栄養士のあり方 神奈川県立保健福祉大学 教授 鈴木志保子先生	次世代の栄養政策 ～栄養不足による障害～ 日本栄養士会副会長 鈴木志保子先生のパワフルな講義が福井県で開催されます。未来をつくる管理栄養士・栄養士のあり方を学びましょう。
	オリエンテーション	
6月15日(土) 福井県教育センター	スポーツ現場の実際 ★タンパク質過剰摂取による肝障害 ★アスリートへのサポート ～チームサポートで栄養士に求められるスキル～ 日本大学 准教授 松本恵先生	どの分野の管理栄養士・栄養士もおさえておきたい内容です。栄養障害や他職種連携まで、スキルアップには欠かせない内容です。
7月13日(土) 福井県教育センター	専門職としての役割と倫理綱領 福井県栄養士会 会長 北山富士子先生	医の倫理 生命倫理 患者・障害者の権利 インフォームドコンセント 守秘義務 管理栄養士・栄養士倫理綱領 コミュニケーション
	栄養素の消化と吸収(代謝) 1 福井県栄養士会 副会長 池田涼子先生	栄養素の消化吸収、栄養素の代謝、栄養代謝異常と疾患
	栄養素の消化と吸収(代謝) 2 福井県栄養士会 副会長 池田涼子先生	栄養素の消化吸収、栄養素の代謝、栄養代謝異常と疾患
8月10日(土) 仁愛女子短期大学	非常時の対応スキルの学習 日本栄養士連盟 石川県支部 幹事長 橋本良子先生	災害時対応 ～パッキング～ 実際に食材を使用し体験してみます。明日から役立つ情報満載です。
9月14日(土) 福井県教育センター	栄養ケアプロセスについて 栄養評価、栄養診断を重点的に 川崎医療福祉大学臨床栄養学科 学科長 寺本房子先生	連日開催にて「栄養ケアプロセス」を体系的に学べます。 栄養ケアプロセスは卒後教育としての基幹教育です。日本栄養士会 寺本房子先生の2日にわたる講義ですが、みなさんで再確認していきましょう。症例を用いて実際に記入する演習も実施されます。
9月15日(日) 福井県教育センター	栄養ケアプランの作成 症例を用いてケアプランを作成してみよう 川崎医療福祉大学臨床栄養学科 学科長 寺本房子先生	
10月5日(土) 福井県教育センター	調査研究の種類と方法 データの解析 講師交渉中	食育の評価につなげるための調査方法

※管理栄養士・栄養士は科学の進歩と社会の変化に的確に対応するために、常にスキルの向上を図り、専門職としての能力習熟が求められます。ミニマムスタンダードを身につけましょう。

認定管理栄養士合格おめでとうございます



私は新人の頃から、自己のスキルアップのために、生涯学習・生涯教育をはじめとする研修会に極力参加するようにしていました。また、上司の指導のもと、

日頃の業務内容の取りまとめとして、福井県栄養士会主催の栄養管理食育研究会やその他の学会で、毎年1回以上の発表をさせて頂いていました。経験を重ねていくことで、栄養管理・栄養指導業務において、患者・利用者様と関わる楽しさを知り、管理栄養士として充実した日々を過ごしていました。

そんな折、「認定管理栄養士」というものが新設されたことを知りました。受験するためには、基本研修と実務研修の単位とそれらのレポート、学会参加と発表、事例報告などが必要であり、受験資格を満たすのは簡単なことではありませんでした。しかし、これまで積み上げてきた管理栄養士としての実績を形にできる良い機会になるのではないかと考え、挑戦することを決めました。4月の資格審査から、8月の一次審査（筆記試験）を経て、秋頃の二次審査（事例報告の考査）、1月末の合格発表まで約1年をかけて、無事に取得することができました。

このことは自信にもつながりましたが、これまでの上司や同僚の支えがあってこそその成果だと感じています。今後も5年後の更新に向けて、自己研鑽を継続していきたいです。

川崎 真美子



私が管理栄養士として病院に勤めだしてから、気が付いたらすでに20年が経ってしまいました。

当時の大学のカリキュラムでは、疾患について学ぶ機会は

ほとんどありませんでしたし、カルテ記載のSOAPも理解できていませんでした。右も左も分からないまま、とにかく目の前のことに取り組む日々。諸先輩方にいろいろ聞いて、助けていただきながら、少しずつでも成長してきたつもりでした。

しかし、年月を経て後輩から聞かれる側になってくると、自分の知識・経験が限られたものであることを認識させられましたし、チーム医療において他職種と連携するにはまだまだ勉強が必要だと感じていました。面倒くさがりで、切羽詰まらなないと物事に取り掛かることができないう性分のため、自分で計画的に学習することは無理と考え、生涯教育に参加。経験年数を経たがゆえに「教えて」とは言いだしにくい基礎的内容から、最新情報までいろいろ学んできました。その成果を確認するため、「認定管理栄養士」を受験し、何とか合格することができ、ほっとしています。

しばらく「ほっ」とした気分で過ごした後、更新に向けて、また自己研鑽を重ねていきたいと思っています。

早瀬 美香

第8回 栄養管理・食育研究会

平成30年11月24日(土)福井県国際交流会館多目的ホールにて、栄養管理・食育研究会を開催しました。

今回の特別講演は「抗酸化栄養学」をテーマに、仁愛大学 副学長 鈴木和春先生より「フリーラジカルと抗酸化物質」、仁愛大学人間生活学部健康栄養学科 准教授 池田 涼子先生より「鉄欠乏と生体内脂質過酸化について」ご講演を頂きました。



鈴木 和春 教授

鈴木先生は酸化とは分子が電子を放出する反応、一般的には分子が酸素原子と結合することによって酸化反応がおこります。酸化反応によって引き起こされる生体にとって有害な作用を酸化ストレスといい、酸化ストレスが高い状態が続くと、我々の身体を構成する全ての分子が酸化されてゆき、これらが蓄積することが病気の原因となっている可能性があることを説明され、酸化ストレスを減らすこと、抗酸化作用成分を含む食品を摂取することが肝要であると述べられました。



池田 涼子 准教授

池田先生は、 β -カロテンの経口摂取により脂質過酸化が抑制されること、 β -カロテンは酸素分圧が通常よりも低い条件下では抗酸化作用を示すが、より高い酸素分圧においては活性酸素を発生させるプロオキシダントとして作用してしまうことを指摘されました。また抗酸化物質だからと大量投与することは生体に悪影響を及ぼす可能性があり、栄養学の極意は「質と量とバランス」にあると話されました。

一般演題

【 一般演題 1 】

(敬称略)

- 座 長：福井医療事業部代表(東海北陸地区 医療事業部企画運営委員) 阿部 喜代子
福井大学医学部附属病院栄養部 早瀬 美香
- ①活動報告「キッズキッチン」について 二葉保育園 慶家 喜美恵
協力：越前市保育食育部会、越前市児童福祉部、仁愛大学 人間生活学部 健康栄養学科
- ②特定保健指導の実践効果～過去のデータより、今後の取り組みについて考える～
福井県済生会病院 栄養部 北野 珠代
- ③地域包括ケアシステムにおける管理栄養士の取り組み～地域による取り組みの違い～
JCHO 可児とうのう病院栄養管理室 山田 友香
- ④平成30年度介護報酬改定における栄養スクリーニング加算算定への取り組みと課題
介護老人保健施設 鷺巣苑 石川 仁子

【 一般演題 2 】

- 座 長：福井県健康福祉部健康増進課 谷口 孝子
福井県教育庁スポーツ保健課 北村 夕子
- ⑤PDCAサイクルにもとづいた中学校での食に関する指導
福井市大東中学校 吉田 亮子
- ⑥スポーツをする生徒のための弁当指導の取り組み
今庄小学校(今庄給食センター) 中村 有加里
福井県学校栄養士研究会栄養研究部会スポーツをする児童・生徒のための弁当指導研究グループ
- ⑦県民健康・栄養調査からみた高齢者の栄養・食生活の現状と課題について
福井県健康福祉部健康増進課 田中 佳那子

【 一般演題 3 】

座 長：福井県立病院 栄養管理室

仁愛大学人間生活学部健康栄養学科

小寺 由美

山本 浩範

⑥災害発生時における給食運営の現状と課題について～福井豪雪を経験して～

福井県立病院 栄養管理室

橋詰 唯

⑦回復期病棟における退院時自立を目指した栄養指標について

福井厚生病院

齋藤 祐衣

⑧CFTRクロライドイオンチャネルの慢性便秘症への遺伝子要因としての影響

仁愛大学人間生活学部健康栄養学科

浦本 裕美

平成30年度生活習慣病予防のための食生活セミナー

平成31年2月17日(日)福井県自治会館2階多目的ホールにおきまして平成30年度生活習慣病予防のための食生活セミナーを開催しました。初めに東洋大学食環境科学部健康栄養科 教授 近藤 和雄先生に「動脈硬化と食環境」について講演を頂きました。先生は前回福井で講演された11年前より日本人の油の摂取量は増えている。しかも『見えない油』からの摂取が1日の摂取量の8割であり飽和脂肪酸を多く含んでいる、動脈硬化の成因からの対策として血中脂質を増やさない、プラークを大きくしない、破かない、大きな血栓を作らせない等をあげ、血中のコレステロールや中性脂肪の高い状態を続かせないように注意することと、抗酸化物質のポリフェノールの摂取等を提案されていました。



「油の基礎知識～性質と種類、使い方など～」について日清オイリオグループ(株) 青柳 寛司氏は油はオイル(油)とファット(脂)で各々異なる脂肪酸から構成されていること、必須脂肪酸やビタミンEなどの不可欠な栄養成分も含まれていることから、各々の油の特性を理解し必要とする効果に合う物を選択し、摂取方法に留意しながら使用していただくのが重要と述べられていました。



最後に「オリーブオイルの世界～健康性と風味特性～」について日清オイリオグループ(株) 田木 正樹氏からオリーブオイルの歴史や特性、油の構造の話があり、3種類のオリーブオイルのテイスティングとそれぞれの特徴と使い方の説明がありました。テイスティングした参加者からは「こんなにも味や風味が違うのか」「仕事で即活用できる内容ばかりだった」などの声があり油脂についての理解を深める事ができた大変有意義な研修会でした。

今後の予定

2019年 5月25日(土)AM
国際交流会館 地下多目的ホール

新人研修会

2019年 5月25日(土)PM
国際交流会館 地下多目的ホール

定時総会

多くの会員の皆さまのご参加をお待ちしております。

平成30年度 賛助会員名簿

五十音順



春夏秋冬
鮮度にこだわり
食の喜びと幸せをお届けする

株式会社アコス
FOOD COMMUNICATION

〒919-0301 福井県福井市下細江町第6号1番地
TEL(0776)41-7400(代) FAX(0776)41-7401(代)

Eat Well, Live Well.



AJINOMOTO.



株式会社
石川コンピュータセンター

お問い合わせ先 ☎ 076-268-8315



栄養管理システム
HOSPITAL SOLUTION
PC-栄養
Version.4

献立・食数の管理から、SI業務
に至るまで強力サポート!

ポットのお湯(80℃以上)で溶ける低ゼリー強度寒天。
ゼリーやペーストなど、幅広い用途にご利用いただけます。

介護食用ウルトラ寒天

寒天のトップメーカー



伊那食品工業株式会社

名古屋支店/愛知県小牧市小木東1-49 TEL 0568-75-6660



真心のこもった料理をより多くの皆様へ

イフスコヘルスケア株式会社

医療・福祉施設等給食業務請負
(医療関連サービスマーク認定・日本メディカル給食協会会員・ISO14001認証)

本社 〒530-0001 大阪市北区梅田三丁目3番20号
福井事務所 〒910-0006 福井市中央3丁目3-21 福井中央ビル3階
Tel(0776)97-8156 Fax(0776)97-8157
ホームページ <http://www.ifsco-hc.co.jp>

全国約280ヶ所の大学・保健センター・病院等の施設で大活躍

選んで乗せてサツとわかる「体験型」栄養教育システム

食育SATシステム

体験者の食事バランスが「実物大フードモデル」と「画面のグラフ」&「結果表」で一目でわかる!

【短期レンタルプラン】もごさいます。

株式会社 いわさき 金沢営業所

〒920-0848 石川県金沢市京町32番22号 TEL:076-251-1418 / FAX:076-251-1468

鯉削りぶし JAS認定福井工場

国産乾物・国産水煮、冷凍野菜

鯉節・削りぶし・昆布・椎茸・煮干・わかめ・ひじき・海苔
胡麻・干瓢・たけのこ・れんこん・ぜんまい・わらび・牛蒡
ふき・きくらげ・舞茸・エリンギ・しめじ他

諸国乾物問屋  株式会社 **太田屋**

福井市高柳1丁目1401番地 tel.0776-53-2713
ホームページ <http://www.katuobushi-otaya.com> 「鯉節 太田屋」で検索

大塚製薬株式会社 福井出張所

〒910-0005 福井県福井市大手2-7-15
明治安田生命福井ビル3階
TEL(0776)26-3005(代表)
FAX(0776)27-0590

鮮魚・冷凍魚の加工相談、取扱商品についてなど、お気軽にお問い合わせください。
弊社 営業スタッフがお話を伺います。



ご注文・お問い合わせ 平日9:00~17:00
TEL. 076-259-1489



安心・安全・新鮮な
業務用一・二次加工魚 **海幸フーズ**



食を通じて豊かな生活に貢献する

(株) 紙安 (水産部門)
紙安産業(株) (給食食材卸)
(株) 紙安クッキング (食堂経営・給食サービス)

住所:金沢市西念4-16-1 TEL:076-233-1610



安心安全な食べ物を
ひとつひとつ心を込めて
手づくりで作っています

公楽商店
KOURAKU SHOUTEN

918-8057 福井県福井市加茂河原1丁目9-10
Tel:0776-35-4723 Fax:0776-35-3603
www.kouraku-s.com



業務用・治療用食品と情報サービス
Confidence(信頼)の....."C"
Heart(真心)の....."H"
Expert(専門)の....."E"
Foods(食品)の....."F"

株式会社 サン食品

〒918-8161 福井市銚ヶ崎町25-58 ホームページ <http://www.sunsyokuhin.co.jp/>
TEL(0776)38-3830(代) FAX(0776)38-2985 メールアドレス info@sunsyokuhin.co.jp

業務用総合食品問屋

塩田食品株式会社

本社 〒918-8578 福井市円山1丁目405
TEL:0776-54-6767 FAX:0776-54-6633

支店 〒914-0053 敦賀市舞崎町2丁目19-4
TEL:0770-25-1155 FAX:0770-25-1239

給食食器・耐熱食器 企画販売

株式会社 下村漆器店

住所:福井県鯖江市片山町8-7
TEL/FAX:0778-65-0024

成功のパートナー
タニコー株式会社
福井営業所 TEL:0776-53-3071 FAX:0776-53-3105

おかげさまで
創業70周年。
<http://www.tanico.co.jp>



Innovating at the Speed of Life

昨日より今日、今日より明日。
テルモは、世界中の医療現場と、患者さんのために
いちにちの思い、新たな価値を創造しつづけます。

テルモ株式会社 www.terumo.co.jp

べたつかないのに、しっとりキープ。

仕事でもキレイに、ストレスフリー。



TUK 東洋羽北信越販売株式会社 0120-365021



笑顔あふれる給食を

業務用厨房機器総合メーカー
株式会社 中西製作所

〒918-8057 福井県福井市加茂河原1丁目9-10
TEL:0776-35-4723 FAX:0776-35-3603
www.nakanishi.co.jp

NISSHIN
oillio

パーフェクトシリーズ
トウフィールシリーズ

日清オイリオグループ(株)
ウエルネス 食品営業部
TEL03-3206-5636



V CRESC

シービーチン

CP 10

コラーゲンペプチド **10,000mg**
[本品100g]

必要なのは、コラーゲンでした

12種類のビタミンと鉄・亜鉛・セレン、
コエンザイム Q10も同時に補給

毎日続けて飲む、美味しいミックスフルーツ味
オレンジ、リンゴ、パイナップル、ピーチ、バナナ

NÜTRI: ニュートリー株式会社
東京支店 〒104-0033 東京都中央区新富1-5 THE WALL 4F
TEL:03-3206-0107(F) FAX:03-3206-0138 e-mail: info@nutri.co.jp <http://www.nutri.co.jp> 32,396円

House

栄養強化米 **新玄®**

ハウスウェルネスフーズ株式会社
ビタミン事業開発部

〒102-8560 東京都千代田区紀尾井町6番3号
TEL (03)5211-6103 (代)
FAX (03)5211-7246

使い易く、衛生的、働く人に喜ばれています。
ハセガワの木芯入り軽量まな板

抗菌かるがる

長谷川化学工業株式会社

〒276-0022 千葉県八千代市上高野1384-5
TEL.(047)482-1001(代) <http://www.hasegawakagaku.co.jp/>

日本調理機株式会社 株式会社AMS機器販売

総合厨房設備・リフト設備設計施工
厨房機器・食品加工機器・冷凍冷蔵庫
食器類・調理用具・住宅機器販売

畑中厨房株式会社

代表取締役 畑中 博

〒918 福井市成和1丁目906 TEL(0776)24-1477 FAX(0776)22-3268
HATANAKA CHUHO CO.,LTD.

人材派遣・有料職業紹介

Focal Trust

〒918-8231 福井県福井市問屋町4丁目1207
TEL : 0776-24-0565
URL : <http://www.focaltrust.co.jp>

業務用厨房機器 総合メーカー

fujimak

株式会社フジマック www.fujimak.co.jp/
福井営業所: 福井市和田東2-1527 Uビル1-B TEL.0776-27-5799

北陸電力株式会社

新調理システム体験車
「オーロラ号」

ご利用・お問い合わせは
福井支店営業部営業担当
TEL 0776-29-6982
FAX 0776-29-6981

NEW 利用無料

OKUNOS 栄養支援

茶碗蒸し

1個(75g)中 エネルギー 80kcal
たんぱく質 5g

温めて、もっとおいしく!
栄養価が高く、食べやすい

かつお風味 たい風味
ほたて風味 まつたけ風味

ホリカフーズ株式会社

新潟営業所
〒949-7411 TEL 025-794-5536
新潟県魚沼市大石59-1 FAX 025-794-4404

ホームページ: <http://www.foricafoods.co.jp>
メールアドレス: okunos@foricafoods.co.jp

meiji 株式会社 明治

人も地球も健康に

Yakult



福井県栄養士会に入会して共に活動しましょう!

(公社)福井県栄養士会は、管理栄養士・栄養士の皆様が職業倫理を遵守した業務を行っていくために必要な新しい情報、良き指導者、語り合える仲間を提供しています。

社会に貢献できる管理栄養士・栄養士を支援する専門職能団体である当会に、ぜひ入会されますようご案内申し上げます。

平成31年度の新会員を募集しています

1 会費

平成31年度会費内訳	既会員	新会員(再入会)
福井県栄養士会入会金		1,000円
福井県栄養士会会費	8,000円	8,000円
日本栄養士会会費	6,500円	6,500円
合計	14,500円	15,500円

2 納入方法について

(1) 会費は年会費(4月～翌年3月)ですが、年度途中からの入会も可能です。下記の指定口座にお振り込みください。

- ① 郵便局 00760-1-29715
- ② 福井銀行 本店 0715691

※平成28年度より、福邦銀行からの振込は行っておりません。

(2) 次年度継続会費は、ハガキ様式のコンビニ専用振込書が日本栄養士会から送付されますので、お近くのコンビニから納めてください。(別途手数料は自己負担になります。)

(3) その他の方法での納入を希望される場合は、福井県栄養士会事務局にお問い合わせください。

3 その他

(1) 会員証について

新会員の方には会費納入が確認され次第、日本栄養士会から会員証が「栄養日本」に同封されて届きます。

既会員は昨年の会員証を引き続きご利用下さい。

(2) 個人情報の変更について

姓、住所、勤務先等の個人情報の変更がある場合は、「会員登録事項変更届」(本会ホームページからダウンロードできます)に記載の上、福井県栄養士会事務局にFAXで送付してください。

(FAX: 0776-27-5999)

栄養士会事務所のご案内



業務曜日：月・火・木・金
(定休日：水・土日祝祭日)
業務時間：9:30～16:30

栄養ふくい 第8号

- 編集 (公社)福井県栄養士会
情報コミュニケーション事業部
石川 仁子
天野 美鶴
加藤 みえ子
- 印刷 マイプリントコーポレーション株式会社